

京都大学における地区URAのネットワークによるイノベーション創出

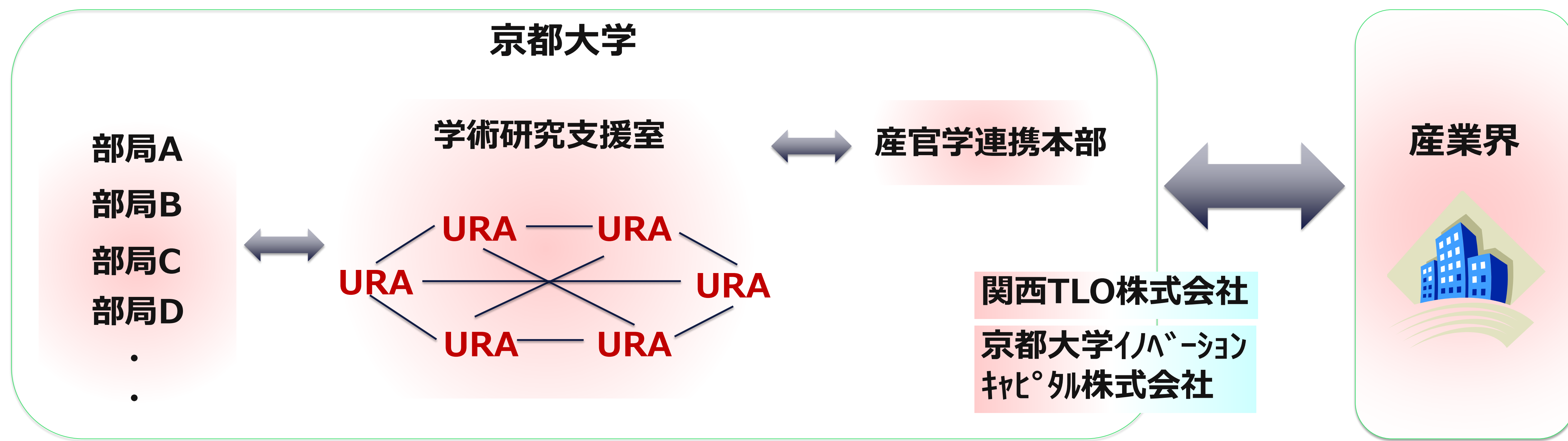
加賀田博司、村田昭子、杉山梨恵、宮井均（京都大学 学術研究支援室）

【背景】産学連携の活性化によるイノベーション創出が求められている。

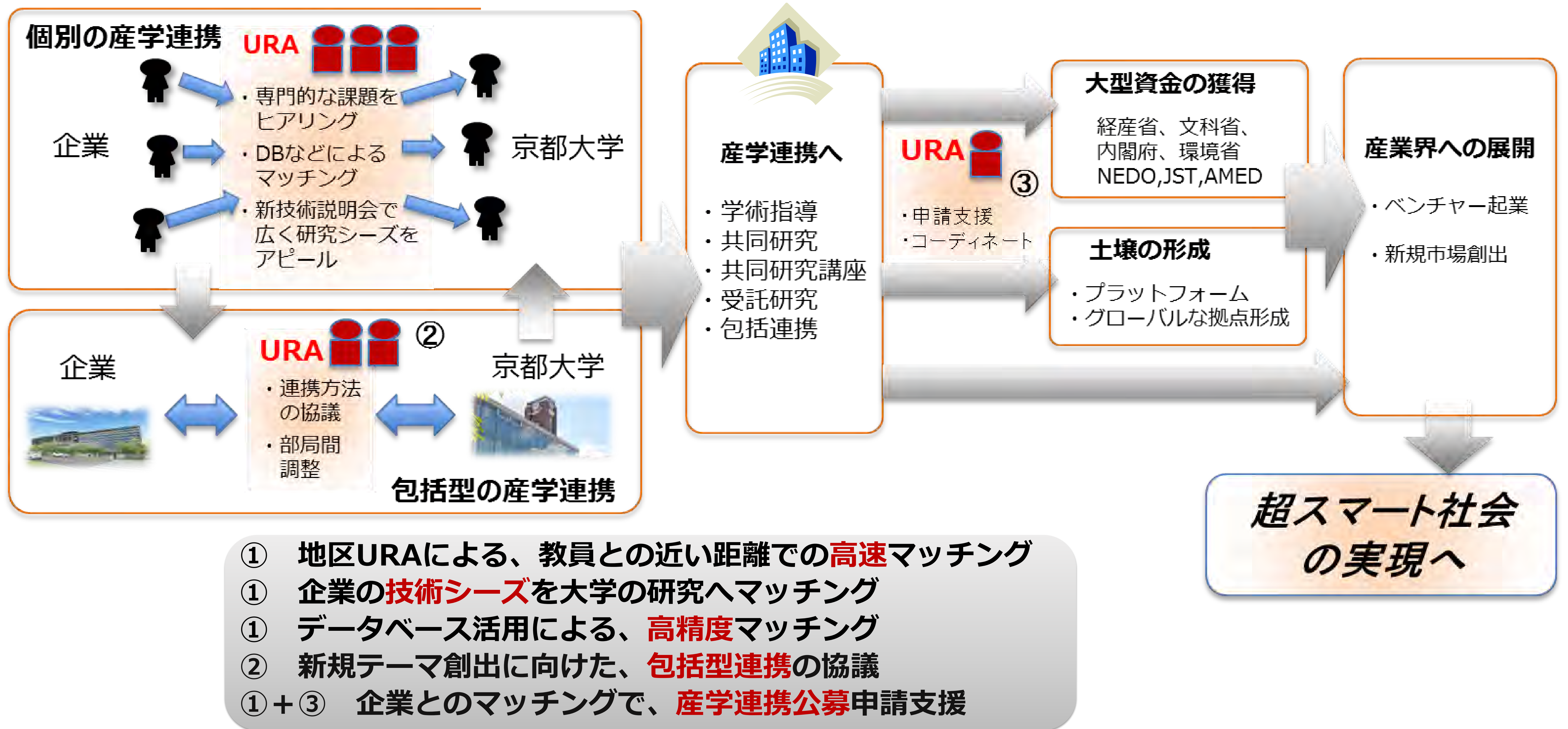
国：「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」策定（2016.12）
組織対組織の本格的共同研究の強化。2025年までに企業の**共同研究費を3倍**へ
 産業界：新規事業創出のための**オープンイノベーション**活動が活発化

【目的】部局URAのネットワークにより、大型の包括的産学連携につなげ、大型の研究資金を獲得、イノベーション創出により「**超スマート社会**」を実現する。

京都大学の産学連携推進体制

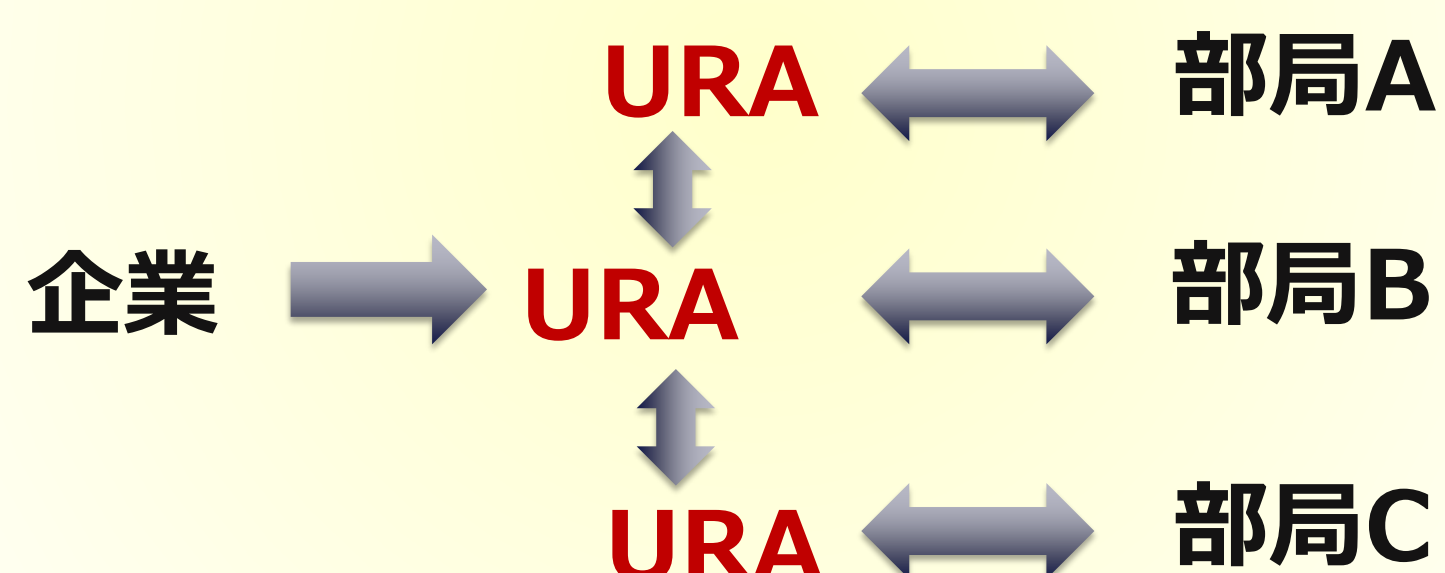


URAの活動による超スマート社会の実現

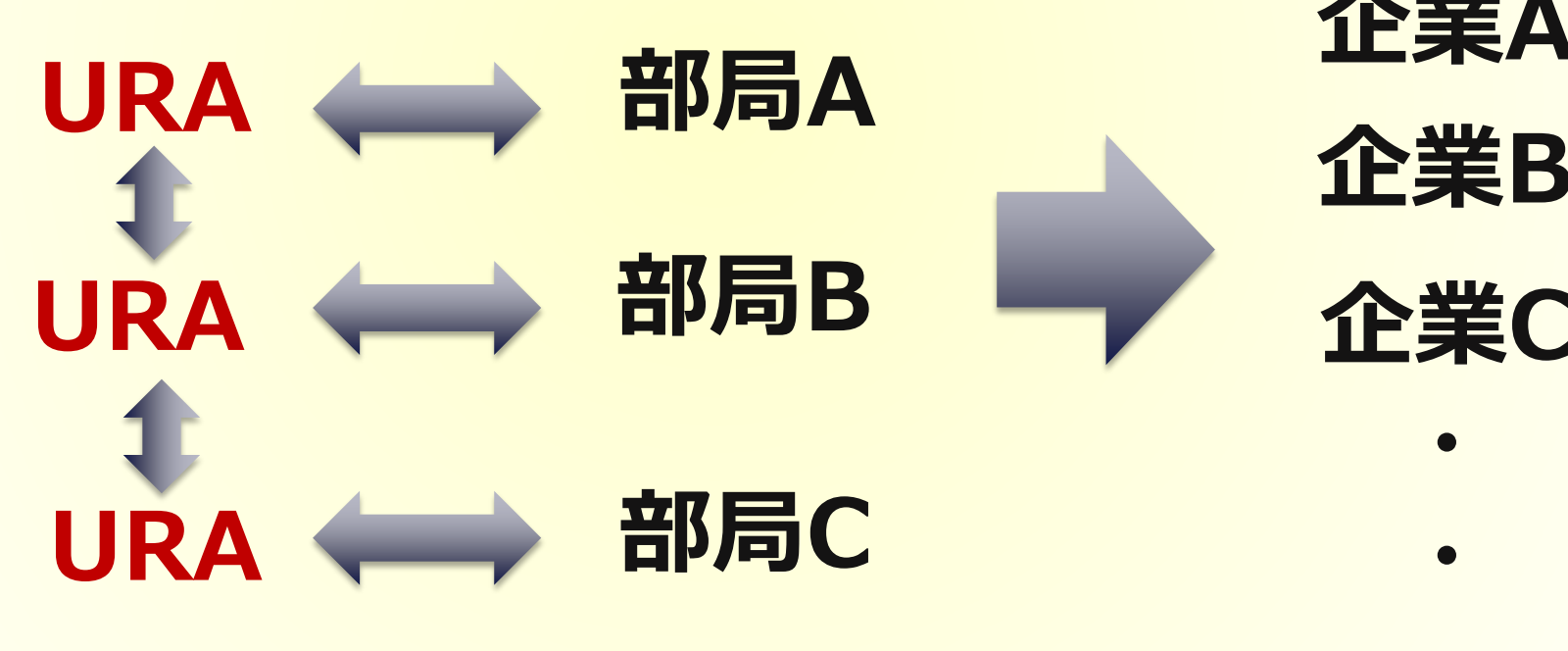


部局URAの連携によるイノベーション創出活動

個別相談から部局をまたがる**共同研究へ展開**



複数部局の教員が講演するマッチングセミナーで**共同研究の機会創出**



様々な部局の教員と企業技術者の議論による**新規テーマ創出**

